

事業番号	05 01 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	福祉医療費給付事業	部局	健康福祉部	課・室	健康福祉政策課
		実施期間	S46 ~	E-mail	kenko-kikaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康寿命、合計特殊出生率				
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実				
	5-4 若者のライフデザインの希望実現				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 乳幼児等、障がい者、母子家庭の母子等及び父子家庭の父子の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図る。	
	【これまでの取組】 市町村が行う乳幼児等、障がい者、母子家庭の母子等及び父子家庭の父子に対する医療費の自己負担分の助成に関する事業（福祉医療費給付事業）に要する経費に対する補助（補助率：県1/2以内）	
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) 現状分析	課 題	今後の方向性
	少子化が進む中、子ども・子育て支援として、乳幼児等の医療費助成を行い、経済的負担を軽減することが求められている。また、障がい者やひとり親家庭の医療費を助成し、経済的に支援することにより、福祉の向上を図ることが必要となっている。	乳幼児等、障がい者、ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、引き続き医療費助成の補助を行い、福祉の向上に寄与していく。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓ 福祉医療費給付事業 ・市町村が行う乳幼児等、障がい者、母子家庭の母子等及び父子家庭の父子に対する医療費の自己負担分の助成に関する事業（福祉医療費給付事業）に要する経費に対する補助（補助率：県1/2以内） ・中学校卒業までの子どもの医療費の現物給付化により生じる国民健康保険国庫負担金等の減額調整額相当額の2分の1を県が負担
	✓ 令和3年8月の福祉医療費給付事業の見直し ・中学校卒業までの柔道整復施術療養費について現物給付方式を導入。 ・精神障がい者2級の通院補助対象を全診療科に拡大。

指標の状況及び目標値 [▲:改善、▼:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)	R3年度 目標値	区分(単位:千円)			
		R1年度		R2年度								R3年度		R1年度	R2年度
事業 コ ス ト	予算額	前年度繰越	0		0						要求	4,343,771			
		当初予算	4,165,271		4,231,774						予算案	4,268,021			
		補正予算	233,156		0										
		合計(A)	4,398,427		4,231,774						要求	4,343,771			
		うち一般財源	4,398,427		4,231,774						予算案	4,268,021			
	決算額(B)	4,239,868													
	職員数(人)	1.0		2.0		2.0									
成果指標 設定理由															

予算要求からの 主な変更点	・福祉医療費給付事業について、保険給付費等の見込みを精査したことによる減額
------------------	---------------------------------------